

「英語コミュニケーションⅠ」シラバス

学科	ビジネス クリエーション科	学年	1 年	類型		組	5 組	単位数	3
使用教科書	Vivid English Communication I NEW EDITION (第一学習社)								
副教材等	英単語ターゲット 1400 改訂版 (旺文社)								

1 学習の到達目標

① 日常的な話題を中心に必要な情報を聞き取り、読み取ることで話し手や書き手の意図を把握できる。
② 日常的な話題や、社会的な話題について基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを伝えたり、論理性に注意して発表したり、文章を書いて伝えたりすることができる。

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめごとに、下記の評価項目により、観点別評価と 100 点法の評価をする。学年末において、観点別評価を 5 段階の評定に総括する。

知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を更に深め、実際のコミュニケーションにおいて、場面や状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けているか。	(5)(6)(7)(8)(9) (10)(11)(12)
思考・判断・表現	目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で話し手や書き手の意図や考えを的確に理解したり、自分の考えや気持ちをまとめ、積極的に伝えたりしようとしているか。	(5)(6)(7)(8)(9) (10)(11)(12)
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。	(1)(2)(3)(4)(5)
評価方法	主な評価項目	
学習状況の観察	(1)ペアワークやグループワークへの参加状況 (2)教師の質問に対する応答	
課題などの提出状況	(3)週末や長期休業中に指示する課題 (4)日々のプリント	
言語活動の観察	(5)スモールトーク等の会話 (6)プレゼンテーション (7)ライティング活動	
インタビューテスト	(8)口頭テスト (9)音読テスト	
ペーパーテスト	(10)定期考査 (11)長期休業後の確認テスト (12)小テスト	

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期	Lesson 1 The Symbol of a New Era Lesson 2 I was Drinking Chocolate! Lesson 3 Welcome to the World of Hospital Art 全国商業高等学校協会主催 英語検定に向けての対策	・ 毎日の家庭学習で予習・復習の徹底を図る。 ・ 英語検定試験でも重要と思われる内容を徹底して繰り返し習得するために、授業においては以下の項目に努める。 (ア) 音読を通した正確な発音・リズム・イントネーションを習得する。 (イ) SNSの投稿文など様々な形式の英文を学び、日常の話題などを投稿文で書いたり、伝え合ったりする。 (ウ) 本文の内容を理解し、学んだ重要表現などを用いて、自分の考えや気持ちについて英語で伝えられるようにする。 (エ) 各課の構文やイディオムを習得する。	(9) (7)(9) (6)(8)
二 学 期	全国商業高等学校協会主催 英語検定に向けての対策 Lesson 4 Esports' Time Has Arrived Lesson 5 Go Sustainable! Lesson 6 <i>In this Corner of the World</i> Lesson 7 Should Stores Stay Open for 24 Hours? 全国商業高等学校協会主催 英語検定に向けての対策	・ 1学期と同様に予習・復習に重点を置いた学習を行い、以下の項目に取り組む。 (ア) 新出単語を必ず各自家庭で調べ、英文の大まかな内容を自分の力でつかむ努力をする。 (イ) 文法・構文・イディオムについて練習問題等を通して学習し、定着を図ることで、応用力を身に付ける。 (ウ) 小テストなどを通して、語彙を増やしていく。 (エ) 既習事項を使って、英語でコミュニケーションを図るとともに、英語によるディスカッションの方法も学ぶ。	(9) (7)(9) (8) (6)(7)
三 学 期	Lesson 8 Our Future with Artificial Intelligence Lesson 9 Stop Microplastic Pollution! Optional Lesson A Retrieved reformation	・ 1、2学期の内容を踏まえて、以下の点について学習する。 (ア) 本文の内容について、既習事項を使って考えや気持ちを伝えたり、本文の内容を整理・活用したりして、パラグラフライティングができるようにする。 (イ) ストーリーの展開を理解・整理し、その内容を伝えることができるようにする。 (ウ) これまで学んだ文法・構文・イディオムを繰り返し学習し、定着させることで、次年度への学習へつなげる。	(8)(9) (6)(7) (8)(9)

備考 (1)(2)(3)(4)(5)(10)(11)(12)については、全ての単元において評価項目として用いる。